

## 知事コメント

- 令和6年の本県における人口の自然増減数は△8,331人と、過去最大の減少となった令和5年の△8,058人から273人拡大。  
全国の中でも高齢化が進んでいる本県においては、年間1万人を超える方が亡くなっており、当面、自然減によって人口減少が続くこと自体は避けられないものと認識。
- 令和6年の出生数も3,108人と、過去最少となった令和5年の3,380人から更に272人減少し、合計特殊出生率は、過去最低となる1.25となった。  
「元気な未来創造戦略」の取り組みはまだ1年目とはいえ、出生数の減少傾向に歯止めがかからず、大変厳しい状況と受け止めている。
- 一方で、今後の出生数に影響を与える婚姻件数については、令和6年は2,071件と、過去最少となった令和5年の1,985件から86件増加。  
このことは、持続可能な人口構造への転換に向けた「明るい兆し」ととらえている。
- 若年人口の増加に向けて、婚姻数や出生数の増加を図るためには、婚姻や出産、子育てに希望を持てる高知県、若者や女性がいきいきと楽しく暮らし、活躍できる高知県をつくる必要がある。  
このため、「高知県元気な未来創造戦略」では、今年度「若者の所得向上」「移住・定住対策のさらなる強化」「男女の多様な出会いの機会の拡充」「共働き・共育ての生活スタイルの推進」という4つの方向性で施策を強化した。
- 今後、これらの施策がより一層効果を発揮できるよう、市町村や民間事業者、大学等との連携をもう一段強化し、知恵を出し合いながら取り組みを進めていく。
- 県の持てる政策手段を総動員することはもとより、「オール高知」の取り組みを通じて、若者や女性に選ばれる高知の実現を目指す。